

組立手順

道具

① **切り抜く** → 普通のカッターナイフ 又は 細切りカッターナイフ カッターボード 定規

② **折り曲げる** → インクの切れたボールペンなど紙に折を入れられるもの（折線に筋を入れて曲げやすくする）

③ **のりを付ける** → 細塗り／太塗り両用液体のり（参考：プラス・Tree's ウォーターグルー）
 部品が細かいため、先のなるべく細いものをおすすめします。

④ **貼り合わせる** → 普通のピンセット（ホームセンターで販売） 又は デザイナー用ピンセット（少し高価。専門店販売）
 短くて先が太い。 **★ P!** *ここが違う。首が曲がって使いやすく、先も細くて細かな作業に便利。*

その他有れば便利な道具

左記の道具で最もよく使い便利で重宝な道具は「デザイナー用ピンセット」と「細口付き液体のり」です。

その他に「三角形の積み木」※厚 15-20mm
 これは立体になってきた模型の下敷きにして、立体部分を壊さないようにします。

「ピンセット」は是非2本揃えて下さい。二刀流で細かな作業をする場面が頻繁にあります。

型紙の厚紙の厚口をご使用下さい！

プリント用紙は厚口紙をお選び下さい

市販の両面印刷用等90kg以上の厚口紙をお選び下さい

各作業における注意

① **切り抜く**

実線を切り抜きます。点線は折るための線。「例：北正面入口石段」のように、絵と実線と点線の区別が付きにくい場合がありますのでご注意ください。

★ 注

例：展開図 一番小さな例

北正面入口石段 北2踏石

※原寸です

切り抜いて折り曲げるとこのようになります

裏から見た図

② **折り曲げる**

○山折り ウラ オモテ

○谷折り ウラ オモテ

折り方には「山折り」と「谷折り」がありますが、区別なく同じ点線で示してあります。それは、組み立て途中で「逆」に折ってのりづけの邪魔を避ける必要が多々あるからです。そのため、折り線にはむしろ山谷両方に「折りダセ」をしっかり付けてください。

③ **のりを付ける**

のりづけには「ピンセット」が不可欠です。場合によっては2本必要です。

④ **貼り合わせる**

ピンセットで挟んでのり面に持って行く

★ P!

手順は単純ですが作業は繊細で精密です。小さな形状の場合は、ピンセットを2本使い、平行・水平・曲がりなどに気をつけて貼り合わせていきます。

マークの意味

★ 注 注意点

★ P! ポイント

★ 重 重要大切